

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0151
施設名	子供の家愛育保育園
施設所在地	東京都荒川区西尾久7-26-4
法人名	社会福祉法人興善会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然に触れ、命の尊さや季節の移り変わりを知る

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

都内に於いて自然と触れ合う機会は少なく、子どもたちへの自然への興味や理解が薄いことに課題意識を持っていた。園は、芝生園庭を有し、恵まれた環境があり、植物や虫などと触れる機会も多くより子どもの関心や興味を掘り下げられる為、テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4月野菜の苗植えの話し合い 5月苗植え、シロツメクサ遊び 6月カブトムシの飼育・観察
7～8月野菜の収穫 9月カブトムシの幼虫観察 11月みかんの収穫 3月チューリップの球根植え

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

子どもたちがどのような野菜を植えたいか話合う環境を用意したり、遊びの中から子どもたちの興味関心を拾い活動を広げていった。

・図鑑、絵本、カブトムシの飼育ケース、土、餌、葉、野菜の苗、球根、肥料、スコップ、ジョウロ、クレヨン、画用紙、芝生等維持管理

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・普段食べている野菜はどのようになっているのか、どう成長していくのか自らが栽培することによって興味を深めていく。
- ・自然と触れることで、四季の移り変わりや季節ごとの違いを感じる。
- ・カブトムシの寿命は1年ということを知り、命の尊さを知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・夏に実る野菜は何か？と問いかけ調べたりし、自分が植えたい野菜の苗を伝える。苗をみるとナスの茎は紫がかっていることや葉が違うことなど様々な発見があった。
- ・芝生の園庭に自生したシロツメクサを見て、「これでアクセサリーを作ったらかわいいだろうな」という呟きから皆で冠や指輪などを作った。
- ・カブトムシの寿命が1年だけということを知り、命の大切さを理解するとともに、希望する家庭には持ち帰り自宅で飼育をする。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初は土に触れることを嫌がる子もいたが、様々な活動を重ねることで土に触る楽しさや草花を慈しむ心が生まれていた。また、カブトムシの成虫を家庭でも飼育することで生き物の世話をする大変さや保護者の方と協力して育てていくことで親子での会話ややり取りが増えたという声もいただいた。
- ・自ら考えて意見をいう機会も多く持ったことで、日常の保育の場面でも相手の話を聞いたり、自分の考えも言葉を選びながら伝えていく姿が増えていた。
- ・戸外活動を楽しみ積極的に体を動かす楽しさも感じていた。